

敦賀「原子力」夏の大学 海外原子力研修（仏国）の実施について

福井大学、(独) 日本原子力研究開発機構および(財) 若狭湾エネルギー研究センターでは、本県が推進するエネルギー研究開発拠点化計画（「人材の育成・交流」）の一環として、原子力への理解を深め、将来を担う原子力技術者を養成するとともに大学間の連携を促進するため、県内外の学生を対象に『敦賀「原子力」夏の大学』を平成19年9月10日（月）から14日（金）に開催しました。

本年度は、参加した学生の中から成績優秀者を海外原子力研修（仏国）に派遣することとしており、成績等による審査の結果、派遣する学生（5名）が決定しましたのでお知らせします。

1 派遣学生

福井大学大学院	工学研究科	原子力・エネルギー安全工学専攻	杉浦 本樹 君
福井大学大学院	工学研究科	原子力・エネルギー安全工学専攻	犬飼 裕介 君
東京工業大学大学院	理工学研究科	原子核工学専攻	井村 寛治 君
東京工業大学大学院	理工学研究科	原子核工学専攻	山本 哲郎 君
武蔵工業大学大学院	工学研究科	エネルギー量子工学専攻	羽倉 尚人 君

2 海外原子力研修（添付参照）

(1) 日程

平成20年2月4日（月）～8日（金）

(2) 研修内容

① INSTN※サクレセンターにおける研修

- ・原子炉物理の基礎に関する講義の受講
- ・教育用原子炉を用いた臨界操作等の原子炉実習
- ・運転訓練シミュレータを用いた運転操作体験実習

②高速原型炉フェニックス発電所の見学

※：Institute National des Science et Technique Nuclear（仏国原子力庁の教育研修機関）

なお、11月26日（月）11時00分から、福井県若狭湾エネルギー研究センター（第2研修室）において、海外原子力研修に係る事前研修を行いますのであわせてご案内します。

【参考】実施体制

主催：国立大学法人福井大学、(独) 日本原子力研究開発機構、(財) 若狭湾エネルギー研究センター

協力：福井工業大学、関西電力㈱、日本原子力発電㈱、(株)原子力安全システム研究所、

関西原子力懇談会、福井県環境・エネルギー懇話会

後援：文部科学省、福井県、敦賀市

この事業は経済産業省「平成19年度原子力人材育成プログラム」の委託事業です。

海外原子力研修（仏国）日程（案）

日 付	実施場所	摘 要
2 月 4 日(月)	INSTN*サクレ－センター	➤ INSTN サクレ－研究所の活動内容の紹介及び教育施設見学
		➤ 原子炉実習準備(基礎講座) -実効増倍率 -原子炉の臨界 -原子炉の制御
2 月 5 日(火)	同 上	➤ 原子炉実習準備(運転講座) -システム概要 -原子炉の運転操作
		➤ 原子炉実習-1 -臨界操作 -温度係数測定
2 月 6 日(水)	同上	➤ 原子炉実習-2 -PWR シミュレータ運転体験
2 月 7 日(木)	—	フランス国内移動
2 月 8 日(金)	フェニックス発電所	➤ フェニックス発電所の概要説明 ➤ フェニックス発電所の見学
	—	フランス国内移動

*: Institute National des Science et Technique Nuclear(INSTN)

（研修日程は今後の INSTN との調整により変更となる可能性があります。）

【INSTNの概要】

仏国原子力庁の教育研修機関であり、原子力エネルギー工学を始めとして放射線利用・防護、化学物理、電子工学、電気工学など幅広い科学技術に関する教育を行い、原子力技術者の育成に貢献している。仏国全土に5ヶ所のセンター(サクレ－センターはそのうちの1つ)があり、700 人の生徒に対して約 1000 人の先生(専門家)を擁している。現在は、仏国のみならずヨーロッパ全体を対象にした教育研修ネットワーク(ENEN:European Nuclear Education Network)の確立を進めており、各国から研修生の受入れを行っている。